

「家庭学習のアドバイス」は、学校再開までの期間、お子さんがどのように家庭での学習を進めていけばよいのかということのヒントになればと思い作成しました。そのため、紹介する学習の進め方がすべてではありません。学校が再開したら、授業の予習復習の仕方や家庭学習の進め方については、学校の先生からお話がありますので、その方法で学習を進めてください。

【国語】

「先生による教科書の範読や発問、友達との意見交流によって理解を深める」という流れに授業再開時に円滑に入れるように、家庭学習において「音読→視写→自分の気付き」を一連の流れとして取り組めるようにしています。一週間を単位として、黒板一枚に課題を示すようにしました。

【社会】

中学1年生は歴史を例に小学校との学習の違いを、中学2年生は地理（日本の諸地域）を例に予習の仕方を、中学3年生は公民を例に、高校受験も含めこれまでの学習の整理の仕方を中心に作成しました。なるべくお子さんが今後の学習のイメージがつかめるように概略を記載し、その後に例を参考に自分で進め方を選択できるようにいくつかのパターンを示しました。

【数学】

家庭学習に取り組む上で、教科としてのめあてを例示し、目標を持って課題に取り組むことをねらいとして作成したものです。取り組みたい問題を各学年一題ずつ出題しました。いずれも答えを導き出すにはいくつかの方法が考えられる、または、思考力を要する問題で、自己の考えを式・表・グラフまたは図に整理し、説明を記述するように構成したものです。一つの方法だけではなく、他の方法でも解けるように挑戦してほしいと思います。

【理科】

これから学習する内容が日常生活や社会と関連していることを実感し、興味を持って新学年の学習に取り組むことができるように工夫しました。また、仙台市科学館のホームページ（<http://www.kagakukan.sendai-c.ed.jp/>）掲載の実験動画を紹介し、教科書の流れにそって探究的に課題を解決できるように配慮しました。

【英語】

新学年が始まるにあたって、昨年度までの既習事項についてお子さん自身が振り返ることができるような資料ができればと考え、作成しました。中学2～3年は愛知県教育委員会が作成し、ホームページで公表している、「グローバル化に対応した新たな英語教育の在り方」リーフレット（<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/gimukyoku/gimukyoku29-houkoku-3.html>）を基に作成しました。中学1年については、上記リーフレットの形式を利用しながら、文部科学省が提示している『「小中接続」に係る指導資料』（https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1414459.htm）で示された指導計画による授業が実施された際、スムーズに学習に取り組むことができるような内容としています。